

Singapore Singapore Campus

ロマンチックバレエの代表作に酔いしれるまたとない機会！ SDTダンサー達が熱演する悲劇の恋物語



Giselle by Singapore Dance Theatre



アーティストディレクター、ジェイク・シュルツマンとダンサー、アム・ユン

ダンサーのテラニックはもとより、その舞む姿も美しく、知られるクラシックバレエ作品「ジゼル」SDTのアートディレクターであるテラニック氏にその演出や見せ場について、また主役を演ずるダンサー達の役にのびる物語を語ってもらった。

「ジゼル」は二幕からなり、それぞれの幕で生と死を表現する。第一幕では、村長のジゼルが舞踏の身分を願ったアルブレヒトに恋をする。だが、ジゼルに恋い痴れるうちに、アルブレヒトは死んでしまった。後、彼は復讐で呪いの呪いを知ったジゼルは狂乱。元々心算のなかった彼女が死んで死んでしまふ。第二幕では舞踏になったジゼルが、後悔し詫言のアルブレヒトを許し、同じく男性に結婚前に裏切られ死んだ舞踏たちの怨念から救われる、美しくも悲しい愛の物語だ。

「批評ではよく第二幕にモハイコイトだ」と言われているけど、僕の印象には第一幕。演出にはかなり苦心するよ」とテラニック氏は語る。かくとある舞踏入物があり、それぞれの動き、感情表現がある。「剣やナイフの持ち方からパントマイムまで、細かい演出は非常に多いんだ。舞踏にもバリエーションの演技力には注目してほしい。

そして第二幕、死んで舞踏になったジゼルとアルブレヒトとの踊りはやはり最大の見せ場。ジゼルの体感を感じさせない踊り、そして悲劇に裏切られて復讐する舞踏達の凄惨な演出にも注目だ。「彼女達は、結婚してあげば良かったはずの赤子を握くような手の動きでその悲しさを表現する。その辺り踊りをじっくり味わってほしい。

今回のジゼル舞は、日本人ダンサーの内田千鶴さんを含めて3人体制。内田さんは「自分の役作りが重要なので、きちんと理解するためにビデオなどで何度も研究しているはず」と気負十分。「ジゼルでは役に自分を表現させなければな

らない。どんな高度なアクロバティックも、それを観客に感じさせないことが重要な」とはベテランダンサーのHi Yeg さん。前編「白鳥の湖」で二人二役の主役を演じたRose Park さんは「ジゼルと自分は正反対の性格。だから練習中に自分はジゼルだ、ジゼルだったらこうする、と想像も自分に言い聞かせてるわ」。3人ともジゼル役にける熱意込みが伝わってくる。

第一幕で裏切られたジゼルが狂乱し、死に赴く途中の「Mad Scene」は特に見逃せない。Hi Yeg さんは「舞踏ではありえない、ジゼルの狂気を表現するのが好きなの。日常とかけ離れた人物を演じることができるとジゼル役の醍醐味ね！」と息を弾ませる。

一方、アルブレヒト役のWang Hao さんは、舞踏の世界にはないジゼルの純粋さを愛し、血塗りの痛を表現するのが難しい、とコメント。「それに僕は実際に愛と離れた事はないから」と同様のChen Feng さんも笑う。アルブレヒト役の演技力にも注目だ。第二幕で舞踏の女王ヨルダに裏切られる10回のジャンプシーンも見逃せない。「僕は有名な歌謡、ジゼルが去った後にアルブレヒトが一人残される場面が好きなんだ。わがままな生き方をしてジゼルを去った彼を通して、人間の弱さ、それに対する教訓が伝わってくるよ」とはテラニック氏。美しいだけでなく、ストーリーも豊富な「ジゼル」SDTダンサー達が熱く演ずる悲劇の恋物語をじっくり堪能しよう。



(左から) ジゼルを演じるRose Park さん、内田千鶴さん、Hi Yeg さん



(左から) アルブレヒトを演じるChen Feng さん、Wang Hao さん

Giselle

日程：2月12日(金)～3月14日(日)

場所：Victoria Theatre

チケット：\$48, \$68, \$88 (見送、およびる舞踏界のお手帳はご遠慮ください) 予約：SSTHC 83495555 または www.ssthc.com.sg

SINGAPORE DANCE THEATRE Founders Anthony Teoh & Goh Boo Khim Artistic Director Janek Schergen

Advertisement for Giselle featuring a ballerina in a white tutu. Text includes: Giselle, 真実と現実の壁を超えてつむがれる、愛と哀愁の物語、ガラ・パフォーマンス 3月11日 8PM、主催：リリー・シェンロン首領夫妻、一般公開、3月12日～14日 3PM(土・日のみ)、8PM

ガラ・チケット (8100) はSSTHC オフィスでのみ取り扱い、お問い合わせは 8328 0611 へ。

一般チケット (848) はSSTHC (ホットライン: 8348 3333、ウェブサイト www.ssthc.com.sg) にて販売中。

予約編・キャストリスト等詳細はウェブサイトをご確認ください。 www.singaporetheatrefestival.com

